

はじめに

本書『目黒区の教育』は、令和6年度に目黒区教育委員会が取り組んだ事業内容をまとめたものです。

令和6年度は、学校統合による目黒南中学校と目黒西中学校の開校に向けて、統合対象校である第七中学校、第八中学校、第九中学校及び第十一中学校が長い歴史に幕を下ろすなど、本区の教育にとって大きな節目を迎えた一年となりました。

その中で時代を見据えた先進的な学校づくりとしては、文部科学省の指定を受けて研究開発を進めてきた「小学校40分授業午前5時間制」及び「中学校45分授業」について継続的に取り組むとともに、「一人ひとりの豊かな学びと切れ目のない支援をめざして」を副題とする「目黒区特別支援教育推進計画（第五次）」を策定いたしました。

併せて児童・生徒の安全・安心を確保するため、1人1台の学習用情報端末を活用した「めぐろそだんポスト」の開設による子どもたちに対する直接的な相談体制の充実や、運動会等への警備員配置に加え小学校・園の昼間警備委託の試行実施なども進めました。

また、学校・園における働き方改革の更なる推進、校務システム更新によるテレワーク環境の整備、スクールロイヤーによる区立学校等法律相談の開始など、教職員の支援体制の強化を図りました。

さらに生涯学習の分野においても、めぐろ歴史資料館における「めぐろデジタルミュージアム」の公開、区立図書館でのWebリクエストサービスの導入、図書館と医療機関との連携による共同企画展示など、多面的な取組を展開しました。

令和7年度は、これらの広範な取組の成果を踏まえて目黒区の教育行政の一層の推進に向けて力を尽くしてまいりますので、皆様のご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

令和7年8月

目黒区教育委員会
教育長 関根義孝